

(記者資料)

平成 28 年 10 月 12 日(水)
問合先：生涯学習部 ふるさと文化課
担 当：課長 工藤 祐一
電 話：0436-23-9853

「松田正平展」の開催について

市原湖畔美術館では、市原市ゆかりの芸術家として、昭和 38 年から平成 7 年まで本市鶴舞に在住し、多くの作品を制作した画家・松田正平氏の作品展を開催します。

本展覧会では、本市収蔵の「女生徒」や「アフリカの便り」を始め、フランス留学時の作品である「ネル・コレ」など、素朴で色彩豊かな作風の油彩画を中心とする 19 点の作品を常設展示室に展示します。

【松田正平展】

- 1 期間 平成 28 年 10 月 22 日 (土) から 12 月 18 日 (日) まで
- 2 会場 市原湖畔美術館 (市原市不入 75-1)
- 3 開館時間
 - (1) 平日 午前 10 時から午後 5 時まで
 - (2) 土・祝前日 午前 9 時 30 分から午後 7 時まで
 - (3) 日・祝日 午前 9 時 30 分から午後 6 時まで
- 4 休館日 月曜日
- 5 料金
 - (1) 一般 200 円
 - (2) 高校・大学生 100 円
 - (3) 中学生以下 無料
- 6 展示内容
 - (1) 油彩画 「ネル・コレ」、 「女生徒」、 「アフリカの便り」 など 16 点
 - (2) 水彩画 「レスリング」、 「山倉 1 号墳」 など 3 点

松田正平 (1913 ~2004)

島根県に生まれ、幼少期を山口県宇部市で過ごし、東京美術学校（現・東京藝術大学）の西洋学科を卒業後、フランス留学で油彩画の研鑽を積みました。帰国後は、国画会や個展などを中心に活躍し、1984年には第16回日本芸術大賞を受賞、2004年に91歳で生涯を閉じました。

氏の作品は、身近なものをモチーフとし、味のある独特なフォルムで構成され、色彩が明快であることが特徴的です。また、油絵の具による表現方法の探究から、その絵肌は厚塗りから薄塗りに変化していきました。